

シリーズ

地区社協紹介③

皆さんにとって一番身近な社協＝地区社協の紹介をシリーズで掲載しています。

阿久和南部地区社会福祉協議会



地域の幼児から高齢者まですべての人が安心して暮らせる住みよい街づくりをテーマに、連合自治会（15自治会）及び傘下の部会員の協働により推進しています。運営資金は、市・区社協よりの補助金のほか、連合自治会よりの助成金で運営しています。

年度初めに1年間の活動予定表を作成し、さまざまな行事を通じて、地域としてまとまりを持った活動を計画的に行っています。また、こうした地域の中から自主的に派生した活動拠点として、地域サロン

お仲間サロンひなたぼっこ（毎月第3水曜日）・**子育てサロンあくわキッズみなみ**（毎月1回 対象は0才～小学2年生まで）などが活動しています。

今後さらにつながりのある街にしていこうために・・・

- 顔のみえる関係をひろげていく
- 気軽に集まれる場を地域につくっていく
- 各団体の活動を知り合い、お互いにできること

助けあい、今後ますますの発展にいっそう努力してまいります。

（会長：相原 信行）



細谷戸地区社会福祉協議会

細谷戸地区社会福祉協議会は、昭和56年3月に発足し、今年で27年目になりますが、県営細谷戸ハイツが主体の連合自治会で、昔から各種の行事等には積極的に参加する風土と結束力を諸先輩方が作ってくれましたので、社協活動も活発です。社協役員24名は、各種団体や民生委員等が理事となり、年間活動計画を策定し、バザーや昼食会、敬老祝賀会等を実施しています。さらに推進母体となり、**高齢者定期訪問**の件数は98件、**お助けパートナー**の受付処理件数は151件、**高齢者転倒予防体操**には45名、**ラジオ体操**は30～40名の参加など毎月中核となり活動を展開しています。



▲ 毎回多くの方が参加しています

一昨年発足した**細谷戸地区福祉保健計画実行委員会**の議論のうけ、「サロン細谷戸運営委員会」を結成し、23名のボランティアの参加を得て、今年9月に待望の**サロン細谷戸**が発足しました。

活動の方針としては①特定の人のみならず、多くの人が参加できる場とする②喫茶だけでなくできるだけ多くのメニューを用意する③毎月周知用チラシを作成し、徹底したPRをする④毎月第2火曜日開催などを確認しました。

まだ開設して6ヶ月ですが、大変好評で、平均参加者は58名、スタッフを含めて80名以上の人たちで大盛況です。

今後は子どもの参加をどうすべきか？メニューをどこまで拡大するか？などが検討課題としてあります。（会長：榎崎 重人）

編集後記

年間を通じて、ボランティア活動をする中学生をみかける機会が増えると思います。励ましの声をかけてあげたいですね。

- 委員長 遠山 文晴（第四地区社協）
 委員 奥津 弘子（瀬谷北部地区社協）
 小室 良子（第一地区民児協）
 矢田 誠（本郷地区民児協）
 小林 もと（原っぱ親の会）
 丸山美津子（老人クラブ連合会）

次号のお知らせ

次号(31号)は平成20年7月発行予定です。(年3回発行)

横浜市瀬谷区社会福祉協議会 月～金 / 8:45～17:15
 瀬谷区ボランティアセンター 月～日 / 9:00～17:00
 瀬谷区福祉保健活動拠点 パートナーせや 月～日 / 9:00～21:00

ほのぼのせや

瀬谷区社会福祉協議会(社協)情報誌

ホームページアドレス URL <http://www.seyaku-shakyo.jp>

平成20年3月31日発行
 社会福祉法人
 横浜市瀬谷区社会福祉協議会
 瀬谷区二ツ橋町318-5
 TEL (361) - 2117
 FAX (361) - 2328
 承認瀬谷区第46号

はじめてみよう

ボランティア

～中学生を地域で受け入れ～

ボランティアをはじめて体験する場面は人さまざまです

中学3年生の総合学習のなかで福祉について学び、長期休業中にボランティア活動を体験した生徒が最も多かった原中学校におじゃまして、平賀・長浜両先生にお話を伺いました。

中学3年生の総合学習で、福祉について学んできました。本やビデオなどを使い事前学習をおこない、手話・点字・音声訳・誘導・車いす・高齢者疑似体験の福祉体験につなげました。事前学習の時点では他人事のように感じていた生徒たちも、体験を重ねるうちに「もっとやりたい・学びたい」という声があがるなど、関心・意欲が高まってきました。そこで、阿久和保育園・二ツ橋ケアプラザ・土木事務所の受け入れの了解を得て、ボランティア体験を投げかけたところ、ほぼ全員が参加したのは正直驚きました。

夏休みに、地域でボランティア体験（保育園で子どもと遊ぶ・地域ケアプラザで高齢者の話相手・近隣の公園清掃など）した生徒たちの「楽しかった～」「また行きたい」「大変だったけど楽しかった」などの感想は、生徒たちの自信と下級生に新たな関心や意欲をもたせることができたのでは。と思っています。



Content's (目次)		P4～5		P6
特集1	はじめてみよう	ただ今募集中のボランティア活動	日赤募金・共同募金 賛助会費納入報告 法人賛助会員紹介	シリーズ 地区社協紹介③
	ボランティア			
～中学生を地域で受け入れ～		配分を受けた団体の声	ほのぼのせやふれあい助成金	阿久和南部地区 社会福祉協議会 細谷戸地区 社会福祉協議会